

小・中学生は、体も心も大きく成長する時期であるとともに、将来にわたっての生活習慣が定着する時期でもあります。頸城区の小・中学校では、生活習慣病予防教育の一環として**睡眠に重点を置いた**「生活コントロールチャレンジ週間」を年3回行っています。

睡眠に重点を置くのはなぜ…?

睡眠には、心身の休養と、脳と身体を成 長させる役割があり、「**日中の活動を支え**

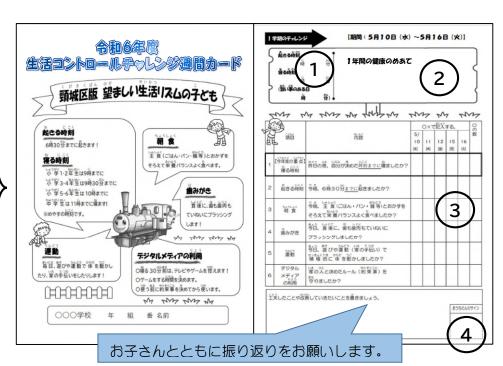
る基盤」です。睡眠不足により、<u>肥満リスク</u>が高くなること、<u>抑うつ傾向</u>が強くなること、<u>学業成績が低下</u>すること、<u>幸福感や生活の質(QOL)が低下</u>することが報告されています。(厚生労働省健康づくりのための睡眠ガイド 2023 より)

「生活コントロールチャレンジ週間」を通して、平日の時間の使い方を工夫し、しっかりと睡眠が取れるよう中学校区全体で働き掛けていきます。 ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

生活コントロールチャレンジ週間カードの記入について

R5 年度同様、3 回のチャレンジ結果を、A3 表裏 1 枚のカードに記録していきます。睡眠やメディア利用、食事、運動など、生活習慣の基本となる項目をチェックします。カードを 1 枚にまとめることで、前回のチャレンジ結果を確認できるようになっています。子どもたちが自分の健康や生活に関心を持ち、主体的により良い生活を実践していくことを願っています。

- ① 起床時刻・就寝時刻を 決めて記入します。
- ② 家庭で話し合い、「健康のめあて」を決めて記入します。
- ③ 5日間取り組み、〇×で 記録します。
- ④ 1週間の振り返りを行います。(保護者のサインをお願いします。)





◎睡眠は北分にどれていますか?◎



眠気は 心 と 体 と 脳 の 疲れのサイン です!

夜ふかしが続くと… 寝不足で「脳が疲労していると」…

学力面への問題

- 記憶力低下
- 判断力低下
- 集中力低下
- ・ 学習意欲の減少

身体への問題

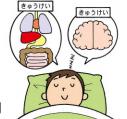
- 起きられない
- 頭痛
- 腹痛
- 肥満
- 免疫力低下

こころの問題

- ・イライラ
- •無気力
- 不安
- ・無関心
- 自信がもてない

「自分の睡眠」と「生活リズム」 について 見つめ直してみませんか?

 \circ



すべての動物は眠らないと生きていけません。人は、「脳の疲れ」や「体内時計のリズム」によって眠気が高まります。睡眠は、特に「脳の疲労回復」にとても重要です。脳の疲労が続くと、様々な問題が起きてきます。 睡眠は、次の日の元気な生活に向けた脳や心身の大切な準備活動なのです。

 \bigcirc

睡眠は私たちの生活を映す鏡のようなものです。

充実した生活を送るためには、睡眠をはじめとした規則正しい生活習慣がとても大切です。自分自身の生活習慣をチェックしてみましょう。

毎朝、ほぼ決まっ た時刻に起きる

夕食後に コーヒー等の カフェインはさける 毎日3食 規則正しく 食事を取る

毎日、ほぼ決まった 時刻に寝る 帰宅後は居眠りをしない (仮眠は20分以内に)

休日の起床時刻が平日と2時間以上ズレないようにする

